



わたなべよしみつ  
**渡辺義光** 議員  
(新政クラブ)

## 東大更駅周辺の整備計画 地域や関係者の意見聴収



東大更駅から望む岩手山

**渡辺議員** 東大更駅利用者や地域住民から駅に公衆トイレを設置してほしいという要望にどう応えるか。  
**市長** 地域や関係者との懇談の場でさらに内容を聞きたい。無人駅であることから、維持管理方法についても検討する必要がある。

の変化などを見据えながら検討するとともに、東大更駅周辺からの岩手山の眺望や水田風景など景観の保全に努めたい。

が急務である。地元の祭りなど文化資源を活用し地域を元気で明るくする施策と戦略が必要ではないか。  
**市長** 国の総合戦略では、地域の文化資源を生かした取り組みや、魅力の国内外への積極的な発信などに必要な取り組みの実施が計画

されている。第2次市総合計画では文化施策を定めて取り組んでいきたい。  
**渡辺議員** 木村泰賢<sup>きむらひさよし</sup>など郷土の偉人や先人を教材にした学習を進めては。  
**教育長** 学校の教育活動で、教職員や児童生徒が触れる機会を捉えていきたい。

### 元気なまちの戦略

**渡辺議員** 地域はコミュニティが崩れ、地域の再生

を急務である。地元の祭りなど文化資源を活用し地域を元気で明るくする施策と戦略が必要ではないか。

### 消防団員の防火衣更新



くどうりゅういち  
**工藤隆一** 議員  
(八起会)

## 消防団員の防火衣更新 今後計画的に整備する



地域を守る使命を果たす消防団員  
(6月21日・消防演習)

**工藤議員** 各分団に配備している防火衣の更新が必要ではないか。  
**市長** 単年度で布製の防火衣に一斉更新は難しいので、計画的に更新を行いたい。  
**工藤議員** 婦人消防協力隊の防災活動従事中の傷害補償があるべきではないか。

期待しているがどのように考えているか。  
**市長** 地元食材を使用した食事や弁当を提供することで、農産物や特産品のPRに努めていきたい。

やホームページの紹介などを進めては。  
**産業建設部長** 内容を検討し、新しくガイドマップなどを作成したい。

ル研修は、どのように行われているのか。  
**教育長** 市内の小中学校では、教職員を対象としたものだけでなく、家庭一体となった取り組みが必要なことから、児童生徒と保護者が一緒に研修する場を設定している学校も多くある。

### 希望郷いわて国体

**工藤議員** 宿泊や弁当の料理メニューは、八幡平市を全国にアピールする好機と

に努めていきたい。  
**工藤議員** 行政や観光協会、商工会が中心となり、夜の飲食店のガイドマップ作成

を急務である。地元の祭りなど文化資源を活用し地域を元気で明るくする施策と戦略が必要ではないか。

を急務である。地元の祭りなど文化資源を活用し地域を元気で明るくする施策と戦略が必要ではないか。



たかはしえつろう  
**高橋悦郎** 議員  
(日本共産党)

## 駅前約30億の費用対効果 にぎわいのある商店街を



工事着手されている東大更駅前広場

**高橋議員** 平成24年3月に策定された「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」では駅前広場・駅前道路の事業費が22億3千万円だったものが、実施計画では29億4300万円に膨れ上がった。費用対効果が問われている。事

業の目的は大更駅周辺のにぎわいをつくることであるが、肝心の商店街の集積の内容が全く示されていない。道路建設だけが先行している。本当ににぎわいあるまちづくりができるのか。

店街をつくっていかなければならぬ。  
**高橋議員** 大更駅前開発では、その他に「駅前顔づくり施設」と「複合施設」の建設が計画されているが、具体的内容は。  
**副市長** まだ具体的に詰めていない状況であるが、大

更駅を降りてあつと思うような施設が望ましいと思う。施設の運営を商工会などの組合形式でいくか、新たに市も出資した形での会社がいいのか詰めていきたい。  
●他の質問事項 一般ごみ広域化処理について



山本 栄 議員  
(日本共産党)

山本議員 旧安代町は単独での町政運営は困難になるとして合併を選択したが、安代地区の人口減少による過疎化の進行は著しい。人口減少に歯止めをかけ、住民が暮らしやすさを実感できるまちづくりの具体的な取り組みは。

市長 人口減少は市単独の事業展開だけでは歯止めをかけることは厳しい。いかに市民が暮らしやすいまちを目指していくのか、次期総合計画で提示したい。

を市の計画に反映させるべきではないか。  
市長 総合計画の策定と並行して進めている人口減少や定住化対策に特化した総合戦略の策定に当たり、各地域振興協議会との意見交換の場を設け、反映できる内容を整理したい。

教育施設・備品を地域で有効に活用  
山本議員 矢神教員住宅は高齢者住宅として改修して活用してはどうか。  
教育長 矢神教員住宅は老朽化が著しいことから、現状での改修は困難であり解

体を進める。解体後の敷地の活用は市長部局に移管した上で検討したい。  
山本議員 旧田山中学校に残っている備品は、有効活用すべきである。  
教育長 活用できる備品は、地域のために有効に活用できよう検討していきたい。



2課15人体制の安代総合支所

## 地域全体の活性化が大事 暮らしやすいまちを目指す



米田 定男 議員  
(日本共産党)

米田議員 市道路整備計画では、市道砂田永持線の整備時期は10年以降か20年の着手予定であるが、新庁舎の主要道路である市道南北線と接続する道路であることや、平館高校への通学路であることなどを総合的に判断すれば、整備時期は実

態に即していないのではないか。  
市長 同計画は、道路整備環境に重要な変更が生じた場合には適宜見直すことにしている。市道砂田永持線は、現在実施している平館野駄地区の圃場整備事業区域内の幹線道であり、該当

すると考えている。事業スケジュールと調整を図りながら整備を進める。  
土砂災害警戒区域  
八幡平市指定ゼロ  
米田議員 土砂災害防止法では、「一県は、警戒避難体制を特に整備すべき土地の

区域を、土砂災害警戒区域として指定できる」と規定されている。八幡平市は土砂災害危険箇所が169カ所と特定されているにもかかわらず、指定がされていないのはなぜか。  
市長 一部の区域で19・20年度に開催した住民説明会

では、指定に伴う風評被害などの懸念の声が出されたが、市民の生命と財産を守るために、早期に土砂災害警戒区域の指定をする必要がある。本年度から危険箇所を対象に住民説明会を開催することで県と協議を進めている。



市道南北線と接続する砂田永持線

## 市道路整備計画の妥当性 必要に応じて適宜見直す



古川 津好 議員  
(緑松会)

古川議員 2019年(平成31年)のラグビーワールドカップの会場に釜石市が選ばれた。グラウンドや宿泊施設が整備されている八幡平市は、出場国のキャンプ地に立候補すべきではないか。市を世界にアピールする絶好の機会でもある。

市長 ニュージージーランド大使館をはじめ、関係者へ要請をしている。キャンプ地の立候補に必要な施設や宿泊、環境などの要件を満たすよう施設整備を検討するとともに、東京オリンピックの合宿誘致も視野に入れて取り組みたい。

宿泊半額補助旅行券  
古川議員 全国で販売される宿泊半額補助の旅行券の効果を八幡平市に結び付けるためにも、観光動画の充実が必要ではないか。  
産業建設部長 動画を作成するための人材と財源が課

題となる。輝調整振興会議の中で協議したい。  
平和都市宣言の広報  
古川議員 国際会議では核廃絶への合意が得られずにいるが、八幡平市は世界平和を希求し、核兵器廃絶平和都市宣言をしていること

を市民に知らせるための方を策を講じるべきではないか。  
市長 市民の目に見えるように核兵器廃絶平和都市宣言の看板を掲げなければならないと思う。  
●他の質問事項 跡地利用について



国内12開催地の一つに選ばれた釜石市(3月2日・釜石市提供=)

## ラグビーW杯キャンプ地 関係機関へ要請している